



## ドイツ

# 更年期向け健康食品の効果とリスクは未解明

●ドイツ消費者センター総連盟ウェブサイト

<https://www.verbraucherzentrale.de/wissen/lebensmittel/nahrungsergaenzungsmittel/marktcheck-isoflavone-fuer-die-wechseljahre-40843>

ドイツには「大豆製品をよく食べる日本人女性は更年期障害とは無縁」という“神話”がある。他人との比較が難しい症状だが、更年期特有の不調に悩むドイツ人女性は多い。ところが、副作用が懸念されることから、ホルモン補充療法には消極的なのだという。このようななか、女性ホルモンと化学構造が似ているとして注目されるのが、大豆等に含まれるイソフラボンである。

そこで、市場にあふれるイソフラボン入り栄養補助食品の安全性を検証するため、ドイツ各地の消費者センターが合同調査を行った。対象は大豆またはレドクローバーのイソフラボンが配合された22商品。店舗やネットで販売されている商品の中から、無作為抽出した。安全性の評価に当たり参照したのは、EFSA(欧州食品安全機関)及びBfR(ドイツ連邦

リスク評価研究所)の指針値である。

その結果、1日当たりの推奨上限値を超えるイソフラボンが14商品に含まれており、最長使用期間の警告表示があったのは1商品だけだったという。ところが、現状では、イソフラボン配合食品の効果と安全性に関するデータが不足しているため、同総連盟は成分が凝縮された栄養補助食品の長期・大量摂取は避けるべきだとする。それでも試してみたい人は、まずは医師に相談するよう助言する。ただし、乳がんや子宮がんにかかったことがある人は、少量であっても摂取しないほうがよいと注意を促す。乳がん歴のある近親者がいる人も同様だとする。

同総連盟は、バランスのよい食生活、十分な睡眠、自然環境での運動等も取り入れながら、更年期を乗り切ってほしいと女性たちにエールを送る。



## フランス、ドイツ

# ルール違反の電動キックボードに警戒

●パリ市ウェブサイト <https://www.paris.fr/pages/pour-ou-contre-les-trottinettes-en-libre-service-23231>

●ドイツ連邦統計局ウェブサイト

[https://www.destatis.de/DE/Presse/Pressemitteilungen/2023/05/PD23\\_N028\\_462.html#:~:text=Insgesamt%20registrierte%20die%20Polizei%20im,verletzt%20und%207%20651%20leicht.](https://www.destatis.de/DE/Presse/Pressemitteilungen/2023/05/PD23_N028_462.html#:~:text=Insgesamt%20registrierte%20die%20Polizei%20im,verletzt%20und%207%20651%20leicht.)

温室効果ガスの発生を抑制し、渋滞解消にもつながるとしてパリで導入されたレンタル電動キックボード。乗り捨て自在な手軽さが人気を集め、便利な交通手段として瞬く間に広まった。ところが、歩道を暴走するなど危険な行為が頻発し、歩行者から不安の声が上がっていた。パリでは重大な事故も発生しており、2022年の電動キックボード(ほかの1人乗り電動モビリティを含む)の事故による死亡者は3人、負傷者は459人だったという。

そこで、パリ市当局はレンタルサービスの賛否を問うため、住民投票を行った。その結果、89.03%が反対票を投じたことから、同サービスは2023年9月より姿を消すこととなった。もっとも、投票率は7.46%と非常に低く、本当に民意を反映しているのか疑問視する声もある。

電動キックボードによる事故が社会問題化しているのは、ドイツも同様である。2022年にはドイツ全体で11人が死亡、1,234人が重傷、7,651人が軽傷を負ったという(暫定値)。人身事故にあった人のうち、45歳未満が80.7%、25歳未満が40.2%である一方、65歳以上はわずか3.3%であり、電動アシスト自転車を含む自転車事故に比べて年齢層が低いことが特徴である。

また、事故原因は複合的だが、飲酒運転の割合が比較的高いことも指摘されている。例えば、飲み会帰りの深夜にバスも市電もなくなると、手軽にレンタルできる電動キックボードで飲酒運転する例がみられるのだという。電動キックボードによる人身事故は、都市部を中心に年々増加していることから、警察も警戒を強めている。